

## 《平成27年2月議会質問および回答要旨》

### 1. 大学入試改革について 《回答：教育長》

大学入試会改革の具体的な内容については、①各大学がどのような学生を受け入れるかという方針を明確にし、受験生の能力や意欲などを幅広く評価する新たな仕組みをつくる、②大学入試センター試験にかわる新たなテストは、高等学校基礎学力テストと大学入学希望者テストとする、③高等学校教育の改革は生徒が受け身ではなく主体的に協働して学べる教育を展開する、④大学教育の改革は、多様な学生が切磋琢磨し相互に刺激しながら成長できる双方向の授業などに転換する、という4点が示されている。

### 2. 認知症国家戦略について 《回答：知事》

安倍総理は、認知症というものは誰でもかかり得る、そういう病というか、人間が老化するに伴ってある意味で多くの人に必然的に出て来るプロセスだというように捉えている。

しかし、それに伴って日常生活が困るとか、家族の人が困るとか、いろんな問題が出てくるため、政府はこれまで厚労省の計画であったものを、政府全体の計画として新オレンジプランをまとめられたわけだが、県自身も市町村などと連携しながら、できるものからやっていかなければならない、認知症対策はそういう大きな課題と認識している。

### 3. 健康長寿プロジェクトについて 《回答：健康福祉部長》

健康寿命を延ばすためには、働き盛りの世代から健康づくりに取り組むことが重要である。そのため、さまざまな生活習慣病のリスクとなるメタボリックシンドロームの予防のため、規則正しい生活習慣の必要性を啓発するとともに、市町村が実施する特定健診の受診率向上や、メタボ該当者に対する保健指導を推進している。また、ロコモティブシンドロームの予防のため、ロコモ予防体操のチラシによる啓発や講習会の開催などを、市町村、関係機関、団体と連携しながら実施している。

### 4. 買い物弱者対策について 《回答：健康福祉部長》

買い物弱者対策については、現在、県として出来る支援を行っているが、地域の状況をよく聞いて、必要な支援をこれからも随時行っていかなければならないと思っている。しかし、この問題は地方だけの問題ではなく都市においても起こっており、全国的な問題である。そのため、いろんな状況に合わせた仕組みづくりというのが大事であるため、政府においてはタクシーの有償貨物運送とか、あるいはトラックの有償旅客運送という現実的な対応を検討していると聞いているので、我々としても現実的な対応をとられるよう必要に応じて求めていきたいと考えている。